

三中スタンダードによる授業スタイル

導入
本時の目標
の明確化

目標が分かる

- ↓ (前時までの思い出し)
- ↓ 本時の目標の提示 (板書で示す)
- ↓ 生徒が具体的にイメージできる文言で設定する。「～することができる。」

意欲的に学べる

展開
学び

- 👉 ICT 機器の活用 言語活動 などを取り入れた対話的な学び の場面を多く設定します。
- 👉 教授型の一斉授業だけではなく、生徒が興味・関心をもって、主体的に学べるよう創意工夫しています。
- 👉 三中では、英語・数学の習熟度別少人数指導も行っていきます。

まとめ
自己評価

達成度が分かる

- ↓ 本時の授業を振り返る。
- ↓ 自己評価を行い、達成度を把握する。
- ↓ 具体的な宿題の提示 (家庭学習の定着)

ICT 機器の活用



電子黒板や Web カメラタブレットなどの ICT 機器を活用することで視覚的に分かりやすく、テンポのよい授業になります。タブレットを用いて調べたり、対話的に学習することができます。

Web カメラで技法を学ぶ

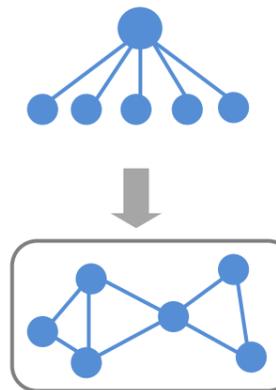


タブレットで調べ、話し合う



グループで実験結果をまとめる

対話的な学び



調べた内容を発表し合う



教師による一斉授業だけではなく、対話的な学びも取り入れた授業を行っています。生徒同士の協働学習では、個人が明確な目標を持ち、多様な考えを聞きながら自分の考えを

深めたり、課題を解決していきます。意見を伝え合って、比較しながら聞き、自分の考えをまとめる中で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を伸ばすことができます。

言語活動

「読む」「聞く」「書く」「話す」などの言語能力を意識した活動を取り入れています。ディベートや討論、プレゼンテーションなどの教科の特色を生かした取組を工夫しています。



電子黒板を使ったプレゼンテーション